高齢化が進む個人経営農家の今後は

未来
髙橋寿治

農業

問　個人経営農家の生き残り策は。

答　「多面的支払交付金」の利用やショウガ等の転作作物の奨励、交付金の対象となる飼料用米などへの転作、米と麦の二毛作などで所得の向上を図ることにより、赤字の抑制につながる。「農地中間管理事業」も推進したい。

施設整備

問　グリーンヒルズ、津山スポーツセンターの専用遊歩道設置は。

答　今は考えていないが、今後関係部署と連携し、研究・検討していきたい。

教育

問　道徳教育で子どもたちに何を伝えるか。

答　将来を自らの手で切り拓き、津山への愛着と誇りを持ち、地域で貢献・活躍できる人材を育てるため、人としての生き方やあり方を葛藤しながらも、考える態度や姿勢を培っていきたい。

個人経営農家の今後は

本市独自のまちづくりの重要性

未来
政岡哲弘

独自のまちづくり

問　郷土愛と高い価値規範を備えた人を育て、教育の再生と高水準化を図り、教育都市をめざす本市独自のまちづくりをすべきでは。

答　人材を育て、本市の歴史・文化を継承していき、特性を活かしたまちづくりにつなげたい。そのことに学校・家庭・地域が一体となってあたることが、本市の人口減少の抑制につながると考える。

住民自治活動の支援

問　持続可能な住民自治活動を支援するため、縦割りを廃した機構改革が必要では。また、公民館の柔軟な運用が必要では。

答　窓口の一本化など、機構改革に取り組みたい。公民館の有効活用のために協議している。

住民自治活動の支援を

子どもの貧困をなくすための支援策は

未来
勝浦正樹

地域防災

問　岡山県と行う防災訓練の意義は。

答　より多くの関係機関や市民の方の参加により、市と県の連携はもとより、災害対応能力や防災力の向上に資するものである。

地域運営組織のあり方

問　地域組織への加入率の低下や役員のなり手不足に対策は。

答　今後、地域問題に単一町内会だけで対応することは困難になると考える。連合町内会の支部を単位とした課題解決に向け、地域づくり強化の取り組みに必要な支援を行う。

子どもの貧困とひとり親家庭支援

問　子どもの貧困とひとり親家庭の支援について、本市の取り組み状況は。

答　「津山市子どもの貧困対策連絡会議」を設置し、各団体の取り組み状況や支援対策について意見交換を行っている。

地域組織のあり方は

津山文化センター改修工事の進捗状況は

令和倶楽部
金田稔久

施設整備

問　津山文化センター改修工事の進捗状況は。

答　現在35％の進捗率で、完成は来年3月。4月にリニューアルオープンし、記念行事を計画中である。

久米山

問　久米山活用をどのように進めているのか。

答　地元を含めた検討会を年度末までに開催する。

施設整備

問　倭文ふれあい学習館屋外トイレが地元協議がないまま解体の方針を進めたのはなぜか。

答　現在、解体を保留し、協議を進めている。

施設修繕

問　行革実行計画で、加茂町斎場が廃止方針なのに補正予算800万円を計上し修繕するのか。必要な施設なら行革計画を改め存続すべきでは。

答　地元要望を受け、当面、機能を維持する。今後は大規模修繕は行わず、廃止する方針である。

改修工事が進む津山文化センター

年金生活者への支援策は

市民が第一
政岡大介

国民年金

問　70歳における老齢基礎年金額は。

答　今年度の老齢基礎年金の満額は月額65，008円である。

問　国民年金だけで生活に苦しんでいる方を助ける施策はないか。

答　国は年金を含めても所得が低い方の生活を支援するため、本年10月から、年金に上乗せする形で「年金生活者支援給付金」を支給する。前年の所得額が老齢基礎年金の満額以下などの条件を満たす老齢基礎年金受給者や障害基礎年金、遺族基礎年金受給者を対象に月額5，000円を基準とし、保険料の納付済み期間や障害等級などに応じて支給される。手続きは日本年金機構にするものだが、本市としても問い合わせなどに対応していく。

【その他の質問項目】

◆みらい戦略ディレクター制度

◆学校給食費について

ひきこもり対策と寄り添う支援体制づくり

公明党津山市議団
広谷桂子

ひきこもり支援

問　ひきこもり支援のための実態調査の計画は。家族に寄り添う必要があるのでは。家族やサポーターの体制づくりは。

答　昨年11月に子ども・若者支援地域協議会を設置した。調整機関を担う青少年育成センターを中心に実態把握について方策を検討中である。当事者への支援と相談体制の充実や、家族やサポーターへの支援体制づくりが必要と考える。家族や当事者を孤立させないよう支援の仕組みづくりを具体的に検討する。

防災備蓄

問　災害時に乳幼児がすぐに飲める液体ミルクを備蓄食糧にできないか。

答　乳幼児に与える食糧として有効であるが、保存期限が短い。災害時の応急生活物資の供給等の協定で、必要に応じて供給を受けることが可能である。

災害時でもすぐに飲める液体ミルク

【その他の質問項目】

◆交通安全対策